



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 日本ピグメント株式会社  
 コード番号 4119 URL <https://www.pigment.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 梶 英俊  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 03-6362-8801

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,490	△2.8	0	△99.9	104	△79.8	88	△75.1
2022年3月期第1四半期	6,679	△11.5	439	—	515	—	356	—

(注)包括利益 2023年3月期第1四半期 377百万円 (△38.0%) 2022年3月期第1四半期 608百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	56.47	—
2022年3月期第1四半期	226.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	32,805	15,201	43.1
2022年3月期	32,771	14,980	42.7

(参考)自己資本 2023年3月期第1四半期 14,137百万円 2022年3月期 13,984百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	100.00	100.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	100.00	100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,700	△1.0	250	△70.1	300	△66.8	200	△66.8	127.39
通期	28,700	4.1	900	△29.9	1,000	△31.6	600	△32.2	382.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,575,899 株	2022年3月期	1,575,899 株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	6,016 株	2022年3月期	5,991 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,569,896 株	2022年3月期1Q	1,569,928 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の規制緩和による社会経済活動の正常化もあって景気に持ち直しの動きがみられましたが、ウクライナ問題の長期化や円安に伴う資源価格の高騰をはじめとする物価上昇が起こっており、今後の景気動向は不透明な状況です。海外においても、本邦を上回る物価上昇、それに伴う金融引き締めの実施により、景気の減速懸念が高まっております。

このようななか当社グループにおいては、自動車関連の生産が半導体不足により減少したことから、当第1四半期連結累計期間の売上高は64億9千万円（前年同期比2.8%減）、経常利益は1億4百万円（前年同期比79.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は8千8百万円（前年同期比75.1%減）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は次のとおりです。

#### 「日本」

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、自動車向けで半導体不足の影響が想定以上に長引いていることから、エンジニアリングプラスチックでも在庫調整の影響を受け、経費面では電気料金高騰が生産コストを圧迫し部門営業利益は昨年を下回りました。

樹脂用着色剤部門は、建材向けが堅調ではあったものの、自動車関連の販売が落ち込み、フィルム用途、化粧品・トイレタリー向けも伸び悩み、原料価格の高騰も相まって、部門営業利益は昨年を下回りました。

加工カラー部門は、主要取引先の自動車用内装材関連が減産の影響を受け、液体分散体では上海でのロックダウンの影響から、中国向けの大型液晶パネル用途が低調となり、部門営業利益は昨年を下回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は33億9百万円（前年同期比6.9%減）、営業損失は4千2百万円（前年同期営業利益3億4千8百万円）となりました。

#### 「東南アジア」

東南アジアは、一部の原料不足や半導体を起因とする部材不足の影響を受けた顧客の減産により販売が減少しましたが、為替や原料価格の影響により当第1四半期連結累計期間の売上高は30億9千9百万円（前年同期比2.3%増）となりました。一方で、取扱数量の減少や電気料金高騰、原材料価格高騰の影響もあり営業利益は6千2百万円（前年同期比52.6%減）となりました。

#### 「その他」

その他は、中国でのコロナ感染拡大でゼロコロナ政策による操業停止を余儀なくされ、当第1四半期連結累計期間の売上高は8千万円（前年同期比12.4%減）となり、営業損失は1千9百万円（前年同期営業損失5百万円）となりました。

## (2)財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は328億5百万円と前期末の327億7千1百万円に比べ3千4百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は175億1千3百万円と前期末の174億7千1百万円に比べ4千2百万円の増加となりました。この主な要因は製品が3億6百万円、原材料及び貯蔵品が3億2千6百万円、その他が2億7千4百万円それぞれ増加し、現金及び預金が4億8千万円、受取手形及び売掛金が3億8千4百万円それぞれ減少したことなどによるものです。固定資産は152億9千1百万円と前期末の153億円に比べ8百万円の減少となりました。この主な要因は投資有価証券が1億円減少したことなどによるものです。

負債合計は176億3百万円と前期末の177億9千万円に比べ1億8千6百万円の減少となりました。負債のうち流動負債は133億7千5百万円と前期末の129億6千9百万円に比べ4億5百万円の増加となりました。この主な要因は支払手形及び買掛金が3億1千2百万円、賞与引当金が1億3千4百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定負債は42億2千8百万円と前期末の48億2千万円に比べ5億9千1百万円の減少となりました。この主な要因は長期借入金が3億8千3百万円、関係会社整理損失引当金が1億8千5百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

また純資産は152億1百万円と前期末の149億8千万円に比べ2億2千万円の増加となりました。この主な要因は為替換算調整勘定が3億8千3百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1億6千6百万円減少したことなどによるものです。

## (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期における第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,142,763	4,661,774
受取手形及び売掛金	6,833,724	6,449,658
製品	2,056,500	2,363,390
原材料及び貯蔵品	1,780,640	2,107,488
その他	1,657,682	1,932,486
貸倒引当金	△300	△905
流動資産合計	17,471,011	17,513,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,096,995	3,104,685
土地	3,775,375	3,790,758
その他(純額)	2,331,186	2,353,194
有形固定資産合計	9,203,556	9,248,638
無形固定資産		
	200,672	207,284
投資その他の資産		
投資有価証券	4,813,589	4,712,864
退職給付に係る資産	626,242	631,177
繰延税金資産	167,089	187,597
その他	292,600	307,579
貸倒引当金	△3,585	△3,585
投資その他の資産合計	5,895,936	5,835,633
固定資産合計	15,300,165	15,291,556
資産合計	32,771,177	32,805,449
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,938,353	6,251,286
短期借入金	5,380,287	5,445,784
未払法人税等	225,088	79,366
賞与引当金	212,734	347,553
その他	1,213,405	1,251,150
流動負債合計	12,969,868	13,375,141
固定負債		
長期借入金	2,967,649	2,584,250
繰延税金負債	993,387	972,021
退職給付に係る負債	456,590	459,979
関係会社整理損失引当金	353,031	167,130
その他	49,784	45,389
固定負債合計	4,820,443	4,228,771
負債合計	17,790,311	17,603,912

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,033,981	1,033,981
利益剰余金	10,343,389	10,275,065
自己株式	△18,342	△18,398
株主資本合計	12,840,188	12,771,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,519,725	1,353,192
為替換算調整勘定	△354,935	28,991
退職給付に係る調整累計額	△20,343	△16,943
その他の包括利益累計額合計	1,144,447	1,365,240
非支配株主持分	996,229	1,064,489
純資産合計	14,980,865	15,201,536
負債純資産合計	32,771,177	32,805,449

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	6,679,321	6,490,662
売上原価	5,493,369	5,709,775
売上総利益	1,185,952	780,886
販売費及び一般管理費	745,999	780,231
営業利益	439,953	655
営業外収益		
受取利息	1,342	896
受取配当金	42,625	31,059
持分法による投資利益	39,481	54,694
為替差益	9,894	15,113
その他	11,857	22,555
営業外収益合計	105,201	124,318
営業外費用		
支払利息	27,096	20,843
その他	2,180	106
営業外費用合計	29,276	20,950
経常利益	515,878	104,024
特別利益		
固定資産売却益	—	21,125
特別利益合計	—	21,125
特別損失		
固定資産除売却損	1,734	316
特別損失合計	1,734	316
税金等調整前四半期純利益	514,143	124,832
法人税、住民税及び事業税	162,493	53,880
法人税等調整額	△17,931	△24,504
法人税等合計	144,562	29,376
四半期純利益	369,580	95,456
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,393	6,790
親会社株主に帰属する四半期純利益	356,187	88,666

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	369,580	95,456
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,739	△166,533
為替換算調整勘定	199,592	366,978
退職給付に係る調整額	3,376	2,574
持分法適用会社に対する持分相当額	37,978	79,241
その他の包括利益合計	239,207	282,261
四半期包括利益	608,788	377,718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	555,817	309,458
非支配株主に係る四半期包括利益	52,970	68,259

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,555,756	3,031,240	6,586,997	92,324	6,679,321	—	6,679,321
セグメント間の内部 売上高又は振替高	58,245	—	58,245	34,738	92,983	△ 92,983	—
計	3,614,001	3,031,240	6,645,242	127,062	6,772,305	△ 92,983	6,679,321
セグメント利益又は損失(△)	348,149	132,257	480,407	△ 5,715	474,691	△ 34,738	439,953

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,309,943	3,099,847	6,409,790	80,871	6,490,662	—	6,490,662
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,440	—	47,440	36,173	83,613	△ 83,613	—
計	3,357,383	3,099,847	6,457,230	117,044	6,574,275	△ 83,613	6,490,662
セグメント利益又は損失(△)	△ 42,574	62,717	20,142	△ 19,487	655	—	655

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。